

中部校区タウンミーティングにおける事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
1	<p>(新駅周辺のまちづくり)</p> <p>船場の、公園を潰して、高層マンションばかり立てて、緑の保全と活用、緑豊かな町作りは、どうなったのでしょうか？市長のお考えを、お聞きしたいです。</p> <p>コンクリート、ばかりで、緑豊かな町作りは、何処に行ったのでしょうか？代替えの、公園は、お考えでしょうか？</p> <p>市長の、お返事をお願いします。</p>	<p>(みどりまちづくり部 公園緑地室) (地域創造部 北急まちづくり推進室)</p> <p>新船場東公園は、新駅周辺まちづくりに伴う土地区画整理事業において、その事業地内の駅前に整備する船場広場に移転し、その一部エリアは「メインデッキ」として令和3年春にオープンしました。また、残りのエリアは、令和5年度の鉄道開業に合わせて「駅前広場」として整備し、ベンチや植栽を配置するなど緑豊かな空間を創造し、市民の憩い・交流の場となるよう計画しております。</p> <p>なお、新船場東公園の面積は3,700㎡でしたが、移転先の船場広場は4,500㎡に拡充する予定です。</p> <p>また、箕面市は、駅前で予定されているマンションのような一定規模以上の私有地での開発については、その事業者に対して、都市計画法の規制の対象以上に市独自の条例において規制の対象を広げて、公園や緑地の整備を義務づけています。</p> <p>これら施設の竣工までの間、ご不便をおかけいたしますが、ご理解賜りますようお願いいたします。</p>
2	<p>(新駅周辺のまちづくり)</p> <p>箕面萱野駅の駅ビルや駅ビル周辺の概要や開業時期、又、駅や駅ビルへのアクセスについて。市の担当者からの現時点の見込みのご説明があればそれで結構です。</p>	<p>(地域創造部 北急まちづくり推進室) (地域創造部 交通政策室)</p> <p>箕面萱野駅には、バスやタクシーが停車する駅前ロータリー、一般車両の乗降スペースや駐輪場などを箕面市が整備する他、東急不動産が生活雑貨や飲食店舗が入る駅ビルを整備する予定で令和5年度の開業を目標に現在工事を進めています。</p> <p>これら施設へのアクセスについては、北大阪急行線の延伸に合わせて、箕面萱野駅を中心にバス路線を再編することで、市内各地域からのアクセスを確保します。</p>
3	<p>(新駅周辺のまちづくり)</p> <p>萱野中央駅に自転車、バイク置き場の設置計画はありますか？ ありとしたり、無料、有料、どんな形式ですか？</p> <p>有料でしたら、最初の90分無料方式を希望します。</p>	<p>(地域創造部 北急まちづくり推進室) (地域創造部 交通政策室)</p> <p>箕面萱野駅周辺には、駅前に自転車駐輪場を整備するほか、新御堂筋の高架下を利用して、バイクと原付置場を整備する予定です。</p> <p>駐輪場の利用は、時間貸しを基本とした有料となる予定です。なお、市内の他の駐輪場においては、一時預かりについて一定の無料時間を設定しており、これらの実情も踏まえ料金体系については今後検討してまいります。</p>

中部校区タウンミーティングにおける事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
4	<p>(新駅周辺のまちづくり)</p> <p>船場東地区に公園がなくなりました。再開発でマンションが増え住民も増えると思います。子供達も大人も遊び憩い寛げる緑の公園（コンクリートではなく、土の）は必要だと思いますが、計画やお考えはいかがでしょうか。</p>	<p>(みどりまちづくり部 公園緑地室) (地域創造部 北急まちづくり推進室)</p> <p>新船場東公園は、新駅周辺まちづくりに伴う土地区画整理事業において、その事業地内の駅前に整備する船場広場に移転し、その一部エリアは「メインデッキ」として令和3年春にオープンしました。また、残りのエリアは、令和5年度中の鉄道開業に合わせて「駅前広場」として整備し、ベンチや植栽を配置するなど緑豊かな空間を創造し、市民の憩い・交流の場となるよう計画しております。</p> <p>なお、新船場東公園の面積は3,700㎡でしたが、移転先の船場広場は4,500㎡に拡充する予定です。</p> <p>また、箕面市は、駅前で予定されているマンションのような一定規模以上の私有地での開発については、その事業者に対して、都市計画法の規制の対象以上に市独自の条例において規制の対象を広げて、公園や緑地の整備を義務づけています。</p> <p>これら施設の竣工までの間、ご不便をおかけいたしますが、ご理解賜りますようお願いいたします。</p>
5	<p>(新駅周辺のまちづくり)</p> <p>新駅周辺の道路整備もされていますが、信号機や自転車道の整備が不透明で不足しているように思えます。</p> <p>大阪府警に任せるのではなく、箕面市からも積極的な要望を出して下さい。</p> <p>大阪府警の交通課はリスクマネジメントが全くできていないため、事故が発生するまで対応しない体質ですので、任せて道路整備させると確実に事故が起こります。</p>	<p>(みどりまちづくり部 道路整備室)</p> <p>箕面市では、店舗や公共施設等を結ぶ自転車ネットワーク路線を設定し、自転車走行空間として順次整備を進めています。</p> <p>新駅周辺においても築造工事を進めている都市計画道路萱野東西線（約1.5km）と芝如意谷線（約0.5km）で自転車走行空間を整備しますが、整備にあたっては、歩行者・自転車・車両が各々安全に通行できるように市が積極的に安全対策を検討し、大阪府警察本部と協議を進めています。</p> <p>(みどりまちづくり部 道路管理室)</p> <p>新駅周辺の道路整備に伴う信号機の設置については、周辺の道路や交通状況を把握している市として、主体的に、信号が必要な箇所への設置を大阪府警察本部と協議しています。</p>

中部校区タウンミーティングにおける事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
6	(新駅周辺のまちづくり) 市民病院の移転時期	(市立病院事務局 新病院整備室) 本日(7月30日)の第7回箕面市新市立病院整備審議会において、新病院が担うべき医療機能や運営手法等に係る答申案をご議論いただいたところです。市としては、答申後、速やかに内容の精査・検討を行った上で基本構想の策定に着手します。その後、基本計画、設計等を行い、早ければ令和7年度に着工、令和9年度中の開院をめざします。 地域の中核病院として、必要な病床数を確保し、診療科を充実するとともに、断らない救急を実践することにより、持続可能な質の高い医療を実現します。
7	(新駅周辺のまちづくり) 新駅前のマンションに在住しています。唯一の船場の小さな公園も高層マンションが建つ。コンクリートの中明らかに人もペットもしんどくなりました。箕面船場にふつうの緑の芝生や木々や土の公園はもう今後なくなるのですか？滝方面にしか箕面市は緑がありません。船場地区は梅田のような街を目指しているのですか？どんな地区にしたいのか見えません。この街が好きで転居してきました。同じ考えの人達は、次々と緑の多い吹田市などへ行きました。私自身もある意味、今回はこの街を去ることを決断せざるをえないのかと考えてます。市長にも以前この件はお会いした機会にお伝えいたしましたが、再度伝えさせて頂きました。小市民のこんな意見には心が動かないのかもしれませんが、箕面市の未来を箕面市を一番愛してきたものとして、伝えます。	(みどりまちづくり部 公園緑地室) (地域創造部 北急まちづくり推進室) 新駅周辺のまちづくりについては、第1期まちびらきとして、令和3年春に複合公共施設や船場広場のメインデッキがオープンしました。現在は、第2期まちびらきをめざし、令和5年度の鉄道開業に合わせて「駅前広場」の工事中です。広場には、ベンチや植栽芝生のスペースを配置するなど緑豊かな空間を創造し、市民の憩い・交流の場となるよう計画しております。 なお、新船場東公園の面積は3,700㎡でしたが、移転先の船場広場は4,500㎡に拡充する予定です。 また、箕面市は、駅前ですべてのマンションのような一定規模以上の民有地での開発については、その事業者に対して、都市計画法の規制の対象以上に市独自の条例において規制の対象を広げて、公園や緑地の整備を義務づけています。 これら施設の竣工までの間、ご不便をおかけいたしますが、ご理解賜りますようお願いいたします。 なお、船場地区は、繊維卸商団地であることから、日影規制などが適用されない都市計画法に基づく商業地域となっていますが、鉄道の延伸により物流のまちから人が集うまちへの転換を求められているところです。 また、本年2月に大阪船場繊維卸商団地協同組合が策定された中長期構想「COM GARDEN CITY構想」では、緑化を推進し、道路に憩いやくつろぎの場を提供しながら、緑が多く歩行者に優しいまちづくりを目指すことが記載されております。 市としても大阪船場繊維卸商団地協同組合と連携・協力してまちづくりを進めてまいります。
8	(新駅周辺のまちづくり) 市民病院跡地に2029年4月開校予定の新しい小学校について、現状はどうなっているのか。 市長の交代や市の出費の増加(地下鉄延伸工事の	(子ども未来創造局 教育政策室) 現時点で、新病院の建設と運営に係る方針が未決定のため、施設一体型小中一貫校の検討もまだできる状況ではございません。新病院の方針が明

中部校区タウンミーティングにおける事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
	<p>延長やコロナ対策)に伴い、小学校建設計画が進んでないように感じる。</p> <p>また、現状でも船場西・東3丁目は遠距離通学を余儀なくされている。さらに船場地区では大型マンション数棟の着工が始まっており、子ども数急増が予想される。現状の萱野・中小で対応策はあるのか。新小学校が計画通り2029年開校となっても子どもたちにとって対応が遅いのではないか。</p>	<p>らかなり次第、早急に施設一体型小中一貫校の可能性も含めた検討をおこなっていきます。</p> <p>また、ご指摘の通学距離の問題は、学校建設と併せて解消します。</p> <p>なお、船場地区の児童生徒数の増加について、庁内の関係室とマンション建設の情報を共有しながら児童生徒数の推計をおこない、学校増築の必要性、スケジュールを検討中です。</p>

中部校区タウンミーティングにおける事前質問に対する回答

No.	テーマ/内容	回答
9	<p>(新駅周辺のまちづくり)</p> <p>現在の住居（船場東3丁目5-81）の前に30階建てのマンションが建つ計画がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンションが建つのか建たないのか。 ・マンションが建ったときの日照権、地震時の保障について ・マンションが建ったことによる、自己居住マンションの資産価値の減少について 	<p>(みどりまちづくり部 まちづくり政策室)</p> <p>ご指摘の場所は、都市計画で定める高度地区において、建築物等の高さの最高限度31mが特例の許可により高さの最高限度が無制限となる地区ですが、箕面船場駅前地区地区計画において、建築物等の高さの最高限度を100m(およそ30階建て程度)と制限強化しています。</p> <p>当該地区計画については、市広報誌もみじだより平成29年4月号でお知らせした上で、平成29年4月7日から5月8日まで地区計画素案についてパブリックコメントを実施、4月15日にはみのお市民活動センターにおいて説明会を実施しています。さらに、市広報誌もみじだより平成29年6月号でお知らせした上で、6月22日から7月5日まで当該地区計画案の縦覧を実施し、平成29年8月9日に開催された平成29年度第1回箕面市都市計画審議会において付議、議決の上、平成29年8月18日に都市計画決定したものです。</p> <p>また、新駅周辺まちづくりに関する各種説明会の開催の際には事前にご案内をさせていただき、まちづくりの計画や工事の状況等を都度お伝えさせていただいております。</p> <p>マンション建設については、都市計画法および建築基準法等で定められている建築物の構造や用途等の各種基準に適合する計画であれば、可能です。</p> <p>一定の住環境や災害時の安全性は、上記の法令に適合することで、確保できると考えています。なお、マンション建設計画地を含む船場卸商団地エリアは用途地域が商業地域であり、建築基準法で定める日影規制はありません。</p> <p>また、当該マンション建設事業は民間事業者が主体となって実施しているものでありますことから、本来的には、これらのご要望は民間事業者に対しなされるべきものと理解しております。もつとも、現在、民間事業者から、箕面市まちづくり推進条例にもとづき、事前協議書が提出され、その書面をもとに、箕面市は民間事業者と協議を行っているところです。箕面市といたしましては、まちづくり推進条例、同施行規則に則り、適切に協議を継続してまいります所存です。</p>